

項目	観点	教科書名						
		新しい社会 公民(2・東書)	中学社会 公民(17・教出)	中学 公民(35・清水)	社会科 中学生の公民(46・帝国)	中学社会 公民的分野(116・日文)	新しい公民教科書(225・自由社)	新しいみんなの公民(227・育鵬社)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培うために、どのように配慮されているか。	・人権と人権の対立を考えさせるなど、人権保障に関する事項と公共の福祉に関する事項を関連づけて記載しており、責任・義務について考えられるよう配慮されている。	・基本的な人権を守るための権利と国民としての責任と義務について詳しい記載がある。また、ディベートで人権保障と公共の福祉による制限を理解する活動があり、関心が高まるよう配慮されている。	・コラムや新聞記事など、判例をもとに人権保障と公共の福祉を考えさせる資料が工夫されており、公民的資質の基礎を養うよう配慮されている。	・「人権を守るためには」として、人権を守るための権利と国民の義務、公共の福祉を説明している。さらに「トライアル公民」で権利の保障と公共の福祉を考える課題があり、より具体的に理解できるようにになっている。	・人権の保障を実現するための権利の後に新しい人権を学習し、その後公共の福祉を学習するという順になっている点に特色が見られ、権利に関する知識の定着を図る工夫が見られる。	・自由権や社会権などの学習の前に公共の福祉や国民の義務について学習する順になっている点に特色が見られるとともに、歴史学習との関連を図るなどの配慮が見られる。	・憲法の基本的人権の保障の学習の中で公共の福祉による制限、国民の義務にふれている点に特色が見られるとともに、先人の業績にもふれ、公民的資質の基礎を養うよう配慮されている。
	○個人と社会のかかわりを中心に理解を深め、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てるために、どのように配慮されているか。	・「公民にチャレンジ」のコラムで、生徒に身近な社会問題を取り上げて考えさせることによって、社会問題に関心をもたせ、自ら考えるような配慮がされている。	・学習課題の上部に導入資料があり、社会的事象に着目し、学習課題に対する関心を高め、自ら学習課題に取り組むように工夫されている。	・学習課題に関わる図や写真などの資料が掲載されていて、生徒が社会的事象への関心をもつことができるように工夫されている。	・「学習の前に」で各部の学習の内容を紹介したり、「クローズアップ」などで学習内容についての実社会の事例を紹介したりすることによって、学習への関心を高め、自ら考えることができるように工夫されている。	・学習課題の上部には導入資料があり、その質問を考えることによって、学習内容への関心を高め、また、自ら考えようとする態度を育てるよう工夫されている。	・「もっと知りたい」のページに、学習内容を深化するための課題や今日的な社会的事象を取り上げることで、学習内容への関心を高める工夫がされている。	・章ごとの「〇〇の入り口」や学習課題の上部には導入資料として、写真や図などが使われていて、今日的な社会的事象について関心が高まるように工夫されている。
	○各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させるために、どのように配慮されているか。	・国連の活動や組織について写真や図で紹介されている。複雑な国際問題について、バタール戦争やアニマル大陸のマンガやイラストを使って理解できるよう配慮されている。	・国連の活動や組織について詳しく説明している。国際紛争などの今日的な課題について、写真やグラフを使って多面的・多角的に考察できるように配慮がされている。	・国際連合のはたらきやしくみ、活動について文章で解説している。「もっと知りたい」のトピックで国連のはたらきや地域統合についてさらに理解が深まるよう配慮されている。	・国連のはたらきやしくみ、活動について、図や資料によってまとめられている。国際社会における日本の役割について詳しい記述があり、さらに理解が深まるよう配慮されている。	・国連の目的とはたらきについて、写真や図を使って説明している。日本の国際貢献について、図やグラフを使って多面的・多角的に考察できるように配慮がされている。	・国連のはたらきと、冷戦下の国連、国連改革について、詳しい記述がある。国連平和協力活動への取り組みについて記述により、さらに理解が深まるよう配慮されている。	・国際連合のはたらきやしくみについて写真や図を使って説明していて、国連における日本の役割について多面的・多角的に考察できるように配慮がされている。
	○現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てるために、どのように配慮されているか。	・学習課題ごとに具体的な事例を多数掲載している。「公民にチャレンジ」では、具体的な事例を元に、話し合いなど、表現する力を付けるように工夫されている。	・「言葉で伝え合おう」で、具体的な事例をもとに、資料の読み取りやシミュレーションなどの活動を通して、表現する力を付けるように工夫されている。	・「卒業論文を書いてみよう」のページで、テーマの設定や資料の収集など、論文の書き方について具体的に説明し、表現活動が行われるように配慮がされている。	・各課題ごとに「説明しよう」の項目で、学習した内容をふまえて、自分の言葉で説明する活動があり、表現する力を付けるように工夫されている。	・「読みとろう」「考えよう」「伝えよう」の項目で、資料から読みとったことをもとに、多面的・多角的に考察し、さらに「学習の確認」でも時間ごとに表現活動の課題が設定され、考えを表現できるよう配慮されている。	・「課題の探求」のページで論文を書く活動やディベートの活動を紹介していて、学習した内容をふまえて、表現活動が行われるように工夫されている。	・「やってみよう」のページで身近な事例を調べたり、ディベートの活動を紹介したりして、表現活動が行われるように工夫されている。
2 内容の程度及び取扱いについて	<基礎・基本の定着のための工夫> ○基礎的・基本的な内容の定着のために、どのような工夫が見られるか。	・「この章の学習を確認しよう」で、章ごとの基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫が見られる。	・「ふりかえる」の活動を行うことで、学習活動ごとに学習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫が見られる。	・重要語句や難解な語句の説明が同じページにあり、社会生活への理解が進む工夫が見られる。	・授業ごとの「確認しよう」や章ごとの「学習をふりかえろう」の項目で、学習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫が見られる。	・「学習の確認と活用」で、学習の理解を確かにする活動があり、基礎的・基本的な内容の定着を図っている。	・「学習のまとめと発展」で、重要語句について確認する項目があり、基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫が見られる。	・各学習課題ごとに学習した内容を確認したり、深めたりする項目があり、基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫が見られる。
	<関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫> ○主体的な学習を進める上で、調べ方や学び方の取扱いには、どのような工夫が見られるか。	・「調査の達人」の項目で、調査活動を行う上での基礎的・基本的な技能を紹介して、主体的な学習活動を促す工夫がされている。	・「公民にアプローチ」の項目で、新聞記事を活用した調べ方について、詳しく説明している。また、「見てもよう」で社会的事象を見る視点についてふれ、関心をもつことができるように工夫されている。	・側注解説が充実していて、自分で調べるときに調査しようとする意欲を高めようとしている。	・第5章において6ページにわたってレポート作成の手順を詳しく説明している。「国会議員が語る政治の現場」や「パン屋の経営者になってみよう」のシリーズで学習内容をより具体的に扱うことで、理解しやすいように配慮されている。	・「情報スキルアップ」の項目で、資料の読みとりの知識や技能について解説し、学習への意欲を高めるようにしている。	・「レポートと卒業論文をつくらう」の項目で、調べ方について解説し、学習への意欲を高めるようにしている。	・主体的な学習を進めることができるように「学習に役立つウェブサイト」を紹介し、学習への意欲を高めるようにしている。
	○他分野との関連や発展的な内容について、どのような工夫が見られるか。	・「分野関連マーク」が付いていて、地理や歴史の学習で学んだことを意識しながら学習を進められるようになっている。	・「学習パート」の表記で、他の章との関連が分かるようになっている。	・「深める公民」のページで、学習に関連するテーマを深める内容が掲載されている。	・「地理・歴史を振り返る」の表記で、地理や歴史で学習した語句について紹介している。また、近い将来に役立つ知識を紹介している。	・「関連コーナー」の表記で、地理や歴史の学習とのつながりを示している。「学習の活用」の項目で、発展的な課題に取り組むようになっている。	・「学習の発展」のページで、学習した内容の発展的な課題に取り組むようになっている。	・「理解を深めよう」「考えよう」「やってみよう」など、発展的な課題が多く掲載されている。
	<個に応じた指導のための工夫> ○個に応じた指導の充実を図るために、比較・関連付け・総合等の方法について、どのような工夫が見られるか。 ※国際社会が抱える課題の記載領土(北方領土、竹島、尖閣諸島)については、どのような記載があるか。	・「公民にチャレンジ」の項目で、個人で行う作業に工夫が見られる。 ・「公民にアクセス」の項目で、竹島問題、北方領土、尖閣諸島をめぐる問題として問題の現状を紹介している。	・「読み解こう」に示されている手がかりをもとに資料を読みとったり、考えを深めたりすることができるようになっている。 ・領土と国家の学習の中で、「領土問題をめぐって」の項目で紹介している。	・調査のマークで、学習内容を深めたり調べたりするための視点を示している。 ・「日本の領土問題」として、地図とともに北方領土・竹島の国境についてコラムで扱っている。	・「この教科書の学習の仕方」として個人でも学習の手順が分かりやすいように説明している。 ・「領土をめぐる問題」として、地図と写真とともに現況を紹介している。	・「学習課題」と「学習の確認と活用」が関連づけられていて、学習しやすいように配慮されている。 ・日本の領土をめぐる問題と扱い、尖閣諸島の問題についてコラムでも紹介している。	・側注解説が多く、記載された内容を理解しやすいように配慮されている。 ・領土問題について本文で扱っている。さらに、「もっと知りたい」のページで、問題解決への取り組みについて詳しい記載がある。	・側注解説や資料の比較など、個に応じた指導の工夫が見られる。 ・領土問題について、「国家とは何か」に関連づけて記載している。さらに、「理解を深めよう」で、2ページにわたって記載している。

3 構成・配列・分量	○教材の構成、分量については、どのような特色があるか。	・章や学習課題ごとの導入の資料や課題に工夫がされている。 ・効率と公正の考えが全体的に貫かれている。	・学習課題ごとの導入資料に工夫がされているとともに、二段階の復習問題が示されているという特色がある。	・地方自治の内容が国民主権の学習の中に含まれている点に特色が見られる。	・「学習の前に」と「学習を振り返ろう」が関連づけられている点に特色が見られる。	・編ごとに「学習の整理と活用」があり、学習内容を振り返るような課題が設定されている特色がある。	・章の終わりに「学習のまとめと発展」があり、学習内容を振り返るとともに、発展的な読み物資料が設定されている特色がある。	・章ごとに「学習のまとめ」があるとともに、模擬裁判などの体験をともなった課題が設定されている特色がある。
	○本文、資料、学習問題、注釈等の配列や相互の関連については、どのような特色があるか。	・学習課題と確認が関連づけられていて、時間ごとに学習した内容を確認したり深めたりするようになっている。また、表現活動を促す工夫がされている。	・学習課題と「ふりかえる」が関連づけられていて、時間ごとに学習した内容を確認したり深めたりするようになっている。また、表現活動を促す工夫がされている。	・側面注釈や資料が効果的に配置されていて、本文中の解説がわかりやすいように工夫されている。	・学習課題と「確認しよう」「説明しよう」が関連づけられていて、時間ごとに学習内容を確認したり深めたりするようになっている。また、表現活動を促す工夫がされている。	・学習課題と「学習の確認と活用」が関連づけられていて、時間ごとに学習内容を確認したり深めたりするようになっている。また、表現活動を促す工夫がされている。	・学習課題ごとの「ここがポイント」で学習のまとめを行い、補充的な内容や発展的内容のコラムを提示し、思考を広げようとする特色がある。	・学習課題ごとにまとめの課題が提示されていて、学習内容を確認したり、深めたりするようになっている。また、表現活動を促している。
4 表記・表現	○用語、記号等の表記や表現については、どのような工夫が見られるか。	・確認マークやティーブレイクマークなどたくさんのマークによってわかりやすく見つけやすい表記になっている。	・側注解説や参照ページ、資料ナンバー、学習パートなど、わかりやすく見やすい工夫がされた表記になっている。	・イラストやマンガなどの表現でわかりやすくする工夫がされている。本文は常体の文体になっている。	・側注解説や参照ページ、写真資料、イラストなど、わかりやすく見やすい工夫がされた表記になっている。	・本文中のたくさんの語句にルビが振ってある点に特色が見られる。イラストを多用し、わかりやすくする工夫が見られる。	・敬体で記述されており、側注解説がわかりやすく表現されている点に特色が見られる。	・法令の解説や参照ページなどのマークが多用されていて、見つけやすくなっている。
5 体裁・使用上の便宜	○表紙や紙質等の体裁、目次や索引等、使用上の便宜については、どのように配慮されているか。	・AB版。一般的な目次とトピックごとの目次があり、見つけやすい工夫がされている。	・AB版。一般的な目次と学習コラムごとの目次があり、見つけやすい工夫がされている。巻頭に教科書の使い方があり、学習しやすい工夫がされている。	・B5版。編のとびらのページには、その編を象徴するような人物の紹介がされていて、導入として効果的に扱うことができるようになっている。	・AB版。一般的な目次以外に、コラムごとの目次や解説別の目次があり見つけやすいようになっている。	・AB版。巻頭に「教科書の構成と使い方」があり、学習の進め方がわかりやすくなっている。目次もコラムやトピックごとの目次があり見つけやすいようになっている。	・B5版。ミニ知識や歴史上の人物を多く紹介している。そのための目次もあり、引きやすさに配慮されている。	・AB版。一般的な目次とコラムの目次があり、見つけやすいように配慮されている。